

平成 28 年度埼玉県・オハイオ州スカラシップ
語学・大学留学コース 11 月レポート
「すべてが新しい経験」

皆様こんにちは。11 月は大統領選挙、Thanks Giving Day (感謝祭)、ボストンキャリアフォーラム、博物館見学と多くのイベントがありました。今回の報告書では、こうしたイベントについて紹介したいと思います。

Underground Railroad Museum

人種問題をテーマとした授業の一環として、Underground Railroad Museum (アンダーグラウンドミュージアム) に行きました。

南北戦争の時代、奴隷が認められている州 (南側) から、認められていない州 (北側) へ、多くの奴隷たちが自由を求めて移動しました。この移動に対し、奴隷を捕まえ所有者の元に戻す、または制裁を加えるという奴隷狩りが行われました。

この博物館は、奴隷たちの北へ逃げることを手伝った歴史に関する博物館です。アメリカの奴隷解放、そして現在の人種差別について学ぶことが出来ました。



博物館のあるシンシナティーのモニュメント

大統領選挙

今年は 4 年に 1 回の大統領選挙の年です。私はクラスに集まり、プロジェクターでニュースを見ました。ここオハイオ州はフロリダ州と並ぶ激戦区であり、トランプ氏が勝利を収めました。現地の学生は選挙が近づくと、ランチタイムに候補者に関して当たり前のよう話をしており、選挙への関心の高さを感じました。また、選挙の翌日は、学校が非常に静かで、選挙により二分したアメリカの互いへの配慮を感じました。



大統領選挙の解説番組

ボストンキャリアフォーラム

ボストンにてボストンキャリアフォーラムが開催されました。(以下、BCF)

これから留学を検討する学生にとって関心、就職活動は関心が高い内容でしょうから、少し詳しく書きたいと思います。BCFは、日英のバイリンガルを対象としたジョブフェアです。しかし、実際には英語力は会話レベル・ビジネスレベルから受け付ける企業が大半を占めます。BCFの最大の特徴は説明会、選考、内定という流れを3日間という短い流れで進めることが出来る事

です。就活解禁に帰国が間に合わない留学生にとってチャンスです。一方で、ES・履歴書の作成、Webテスト等を大学の授業と両立させることは難しいです。

私は忙しさ以上に、一人で黙々と準備をしないといけないという気持ちの面で苦労しました。アメリカでは当然、先生、大学のキャリアセンター、家族等からのサポートはありません。就職活動が大変という概念もありません。その中で、計画的に事前準備をすることが求められます。大変ですが、メリットもその分大きいです。フィンドレー大学から一緒に行った学生の中には、内定が出たり、帰国後に最終面接という段階まで進むことが出来た人もいました。



BCF 会場の様子